

地域医療連携推進法人はりま姫路総合医療センター整備推進機構
令和元年度地域医療連携推進評議会 議事録

- 1 開催日時 令和元年6月4日(火)13:30-14:30
- 2 場所 じばさんびる 501
- 3 評議員総数 8名
- 4 出席評議員数 7名
- 5 出席評議員 山本 一郎、井上 喜通、黒川 優、藤澤 正人、
邊見 公雄、守殿 貞夫、石川 誠
- 6 出席理事等 木下 芳一(理事長)、八木 聡、小田 博則、橘 史朗、
坂原 康敏、今後 元彦

7 議事の経過の要領及び結果

定刻に至り司会者小田は、開会を宣言し、本日の評議会は、7名が参加している旨を告げ、議事の審議に入った。

(1) 平成30年度事業報告書及び平成30年度決算

事務局長は、当期における(自平成30年4月1日 至同31年3月31日)における事業状況を平成30年度事業報告書等により説明した。

質疑及び意見はなく承認された。

(2) 令和元年度事業計画

事務局長は、今期における(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)における事業計画を令和元年度事業計画により説明した。

質疑及び意見はなく承認された。

(3) その他(質疑)

(評議員) 各科の医師必要数について、関連大学との協議は始まっているのか。医局人事の時期を踏まえ適切に協議していく必要がある。

(理事等) 大学執行部との協議は始めている。人事の時期も踏まえ対応して参りたい。

(評議員) 圏域における ICT を活用したネットワーク構築についてはどのような状況か。

(理事等) 他圏域のネットワークシステムの状況も踏まえて検討を進めていく予定にしている。

(評議員) 圏域の医師会では、検討が始まっている。新病院のネットワーク整備においても、医師会との連携を検討していただきたい。

(理事等) 検討して参る。

(評議員) JR 姫路駅からの徒歩アクセスの整備状況はいかがか。動く歩道はつけるのか。

(理事等) JR 姫路駅から2階レベルで歩行者デッキを接続する予定。動く歩道までは設置しない。

(評議員) 公的医療機関等 2025 プランを作成する調整会議での議論はどのように進んで

いるのか。

(理事等) 調整会議としては、調整中の状況。

(評議員) 医療機能は、医師確保とも絡んでくる問題なので関連大学ともしっかりと検討していただきたい。

(評議員) 法人の名称から、仮称をとった県立はりま姫路総合医療センターが新病院の名称になるのか。姫路医療センターと似ており紛らわしい。

(理事等) 条例案が議会で議決されるまでは、(仮称) がついたままになるが、開院の時期が近づいたら議論を深めたい。

(評議員) 新病院予定地は、津波の影響はあるのか。

(理事等) この地域は、浸水しないと聞いている。

(評議員) オペ室が効率的に使われるよう運用をしっかりと検討していただきたい。

(理事等) 検討して参る。

以上をもって、議事を終了し、14:30 閉会した。

以 上